

軟式野球

向山ソフトボール

大久保が優勝

スポーツ少年団大会

習志野市制施行70周年記念・令和6年度習志野市スポーツ少年団の第44回軟式野球大会兼第46回千葉県大会予選と第39回ソフトボール大会の合同開会式が4月13日、第一カッター球場で開かれた。

軟式野球とソフトボールのスポーツ少年団所属チームが集合して催された。選手を代表して、鷺沼マリーンズスポーツ少年団の中里泰太主将と大久保ブルースカイススポーツ少年団の中野志保主将が野球、ソフトボールができる環境に感謝し「仲間を信じ、最後まであきらめずに戦うことを誓います」と宣誓した。

大会結果は次の通り。



選手宣誓する中里主将と中野主将

大会結果は次の通り。

▽1回戦

藤崎シー 8-4 ロックス

大久保ブルース 19-2 習志野ベインックス

ドリムス

袖ヶ浦ボイス	11-0	大東あづま	向山ファイターズ	8-5	鷺沼マリ
鷺沼マリ	13-3	谷津サザ	▽3位決定戦		
津田沼少年野球団	7-1	ならしのフレンズ	向山ファイターズ	21-0	3
向山ファイターズ	9-2	美花レジ	▽決勝戦		
▽2回戦			向山ファイターズ	74-1	12
習志野フェニックス	12-3	袖ヶ浦ボイス	▽バッテリー	森田、寺田	
鷺沼マリ	7-1	津田沼少年野球団	▽本塁打	東海林、上畝	
▽準決勝戦			(フェニックス)	縄村(向山)	
習志野フェニックス	10-9	藤崎シー			
ニックス	10-9	クレット			



優勝の向山ファイターズスポーツ少年団



準優勝の習志野フェニックススポーツ少年団



第3位の鷺沼マリーンズスポーツ少年団

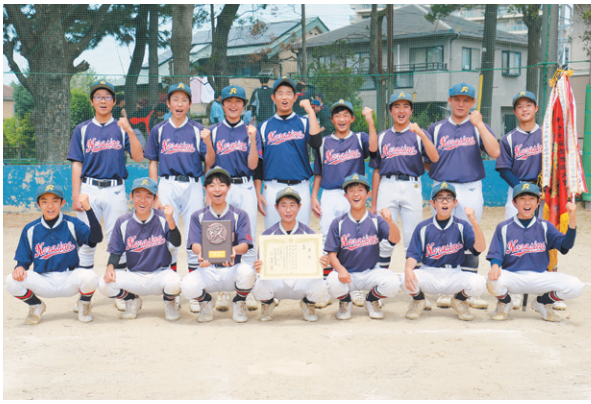


第4位の藤崎シークレットスポーツ少年団



ソフトボール大会の参加選手

六中が優勝飾る！ 中学野球春季大会



優勝の六中

令和6年度習志野市中学校春季野球大会が4月13日から20日まで、第四中学校ほかで開催された。

決勝戦は一中と六中との顔合わせとなり、特別延長戦の結果、六中が優勝を飾った。先攻の六中は1回表、2番山口の四球、3番室賀の死球、4番日高の四球で満塁とするが、一中投手・野坂が後続を断つ。一中は六中投手・日高の力のある投球に1回、2回とも三者凡退。六中も2回、3回は三者凡退。一中は3回

裏、先頭の7番渡邊、8番山村がともに四球。9番嶋村がバントで送り、1番金井は申告敬遠で満塁だが、好機を生かせない。

六中は4回表、先頭の4番日高が四球、5番竹林が死球で無死一、二塁だが得点ならず。6回表は、四死球で二死ながら満塁とするが無得点。一中も6回裏、四球の金井が盗塁で三塁まで進むが無得点。7回もともに無得点で、8回から特別延長戦に入る。六中は一死後、室賀の内野ゴロで

満塁。日高の内野ゴロの間に三塁から川野がかえり、さらに悪送球で2点目を奪う。8回裏、一中は得点ならず。六中が勝利した。

六中の川野翔大キャプテンは「35年ぶり2度目の優勝ができたのは、全員がやるべきことをやったことと、サポートの方々の御蔭です。冬の練習、試合で悔しい思いを重ねて成長した分、春の良い結果につながったと思います。目標である春夏連覇に向けて残りの日数を大切に練習していきたい

大会結果は次の通り。

▽1回戦

六中	10-0	五中
三中	7-2	七中
四中	2-1	二中
一中	10-2	東邦中

▽準決勝戦

六中	6-1	三中
一中	3-0	四中

▽決勝戦

六中	0-0	0-0	0-0	0-2
一中	0-0	0-0	0-0	0-0

①六中②一中③三中④四中

一中が接戦制し優勝果たす 中学サッカー春季大会



優勝の一中

中学サッカーの令和6年度習志野市春季市民大会が4月20日から28日まで、第五中学校ほかで開催された。

2グループでのリーグ戦と順位決定戦が行われ、一中が新人戦に続いて優勝を飾った。

順位決定戦のグループ1位同士による優勝決定戦は、昨年の春季大会と同じく一中と四中との対戦とな

った。昨年の春季大会は四中がPK戦を制した。

試合は前半、両チームとも好機を作るが得点できないが20分過ぎ、四中が先制。後半、一中がゴールを決めて同点とする。その後、試合は延長戦に入るが、0-0でPK戦へ。一中が4-1で勝利した。

一中の谷隆成キャプテン

大会結果は次の通り。

▽Aグループ

四中	2-1	六中
六中	1-1	三・七中
四中	3-1	三・七中

①四中②六中③三・七中

▽Bグループ

一中	5-0	二中
一中	5-1	五中
五中	2-1	二中

①一中②五中③二中

▽順位決定戦

二中	5-0	三・七中
----	-----	------

▽3位決定戦

五中	2-0	六中
----	-----	----

▽優勝決定戦

一中	4-1	四中
----	-----	----

PK 4-1

①一中②四中③五中

▽三塁打

【後記】

決勝戦は習志野フェニックスと向山ファイターズとの顔合わせとなった。1回表、フェニックスは1番宮崎の内野安打、2番東海林の左中間本塁打で2点。向山はその回裏、1番高浜の安打後、2番園田がエラーで出塁。3番縄村、4番吉田の連続中前安打、相手エラーなどで逆転。9番森元の中前安打でさらに3点を加えて5点差とする。

フェニックスは2回表、7番上畝の本塁打で1点返すが、向山はその回裏、縄村の左前安打、6番吉村

の内野安打、8番樋口の三塁打などで4点追加。フェニックスは3回表、5番渡邊、6番寺田が安打で出塁するが反撃はならず。向山は3回裏にも縄村が本塁打を放ち、勝利を決めた。

向山ファイターズの吉垣陽翔キャプテンは「準決勝戦は接戦でしたが、守備での良いプレーから流れをつかんで勝利することができました。決勝戦では自分たちらしく打ち勝つことができました」と話した。

ソフトボール大会は茜浜緑地多目的広場で開かれた。大会には鷺沼イーグレッ

ト、ジュニアース、藤崎シークレットの合同チームと、大久保ブルースカイと藤崎シークレットの合同チームが参加。6人制による交流戦が行われた。試合は大久保が4点先取。鷺沼・ジュニアースも2点を返すが、大久保は4回裏にも4点を追加し、10-2で勝利した。

大久保ブルースカイスポーツ少年団の中野志保キャプテンは「メンバー全員ができることを精一杯やった結果、優勝につながったので本当にうれしいです。これからもがんばります」と話した。